

あさひむら **議会だより**

2016.10.31



未来に夢をのせた大スターマイン (小学校運動会)



目 次

- 東筑議員大会／農業委員との懇談会 …… 2
- 議会の議決事項の概要 …… 3
- 平成27年度決算審査報告 …… 5
- 総務産業・社会文教委員会報告／草刈ボランティア… 6
- 一般質問 ここが知りたい …… 7
- 朝日山形議員研修会／
林産業活性化議員連盟研修会 …… 11
- 議会活動日誌／村民の声／編集後記 …… 12

「議会だより」第22号 発行日／2016年10月31日

発行／朝日村議会 〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村大字小野沢296-5 TEL 0263-99-2001(代) FAX 0263-99-2745
印刷／川越印刷株式会社 Eメール gikai@vill.asahi.nagano.jp

研 修 報 告

東筑摩郡村議会議員大会に参加して

去る9月2日麻績村地域交流センターにて東筑摩郡村議会議員大会が開催された。朝日村議会議員全員と中村村長が出席した。この大会は東筑摩郡内五村が其々の懸案事項をこの大会で決議し県議長会を通じて国、県に要望するものです。当村は本年も県道御馬越塩尻停車場線「中組バイパス」の早期実現についてを提出議案とした。説明者として林邦宏議員が登壇し以下の説明をした。(要旨)松塩広域農道「アルプスグリーン道路」と朝日村西洗馬地区間を結ぶ幹線農道「愛じヒタミン道路」が平成二十年に県営の事業により完成した。今では、朝日村と松本市・塩尻市とを結ぶ地域間道路として、また長野自動車道へのアクセス道路として利便性が高いため多くのドライバーが利用し、朝の通勤時間帯には通過車両が集中しておりますが、村内から「愛じ



タミン道路」にアクセスするためには、「県道御馬越塩尻停車場線」や「県道土合松本線」を通行することとなり、西洗馬地区内では県道の幅員が狭く且つ、道路の両側に住宅が密集し、見通しの悪いカーブの連続、歩行者を擁護する歩道や、縁石も無く、これまで以上に交通事故の発生が心配されています。このようなことから県では「中組バイパス」を新設するとし、現地調査に続いて、用地測量及び実設計が完了し、昨年度から用地交渉が開始されましたが、今後、引き続き用地交渉及び埋蔵文化財の発掘調査が必要となり、重大な局面を迎えている。県当局には県道「中組バイパス」の早期着工及び供用開始を強く要望する。

この議案は本会議で決議されました。今後は、県議長会を通じて県及び県議会、地元選出国會議員に要望される予定です。(高橋 廣美)

農業委員・議会議員懇談会

8月26日AYTマルチメディアセンターで議員と農業委員の懇談会が開かれました。これは議会だより20号で掲載した朝日村議会活動計画表によるもので、議員の自己研さんと共に結果として政策提言できる議会にするための取り組みです。この日は農業委員全員(13名うち女性2名)出席の双方の課題を議論する活発な場となりました。農業委員の皆さんは毎月定例会を開いて、農地法等に基づく農地転用許可などの法令事務のほかに農地相談を開設したり農地パトロールをするなど、その活動は幅広く、農地の番人と呼ばれています。この日課題として挙げたのは、不在地主による耕作放棄地の農地として保全するための改善策や新規就農者への支援策など、農業を基幹産業とする朝日村を維持するために取り組む必要性の発言が委員各人からありました。今回の



(塩原智恵美)

議会の議決事項の概要

～ご意見・要望は下記議会事務局まで～
E-mail gikai@vill.asahi.nagano.jp

平成28年度朝日村議会

9月定例会

(平成28年9月)

◆議案第52号

○専決処分の承認を求めること
について(平成28年度朝日村
一般会計補正予算(第3号)
について

歳入歳出それぞれ607万円
を追加し、歳入歳出予算の総
額をそれぞれ32億6,720万
円とする。主たる歳出は水害
による西洗馬65号線復旧工事
550万円。
(全員賛成 可決)

◆議案第53号

○朝日村農業委員会の委員及
び農地利用最適化推進委員
の定数を定める条例の制定
について

農業委員会等に関する法律及
び規定に基づき、農業委員の定
数は12人、推進委員の定数は
3人とする。(全員賛成 可
決)

◆議案第54号

○朝日村特定環境保全公共下
水道根幹的施設の建設工事
委託に関する変更協定の締
結について

ピアラインあさひ水処理設備
の電気計装の更新事業につい
て、請負金額の減額による変更
契約で減額は265万円。
(全員賛成 可決)

◆議案第55号

○平成27年度朝日村一般会計歳
入歳出決算認定について(平
成26年度からの繰越含む)
歳入35億2,355万円、歳
出32億7,146万円。平成28
年への繰越財源を除いた実質収
支は1億3,429万円の黒字
となった。
(全員賛成 可決)

◆議案第56号

○平成27年度朝日村国民健康保
険特別会計歳入歳出決算認定
について

歳入6億2,419万円、歳出
5億4,853万円。実質収支は
7,566万円の黒字となった。
(全員賛成 可決)

◆議案第57号

○平成27年度朝日村介護保険
特別会計歳入歳出決算認定
について

歳入4億5,192万円、
歳出4億3,879万円。実質
収支は1,313万円の黒字と
なった。

(全員賛成 可決)

◆議案第58号

○平成27年度朝日村後期高齢者
医療特別会計歳入歳出決算認
定について

歳入4,592万円、歳出4,
553万円。実質収支は39万円
の黒字となった。
(全員賛成 可決)

◆議案第59号

○平成27年度朝日村簡易水道特
別会計歳入歳出決算認定につ
いて

歳入1億3,663万円、歳
出1億3,226万円。実質収
支は437万円の黒字となっ
た。
(全員賛成 可決)

◆議案第60号

○平成27年度朝日村下水道特
別会計歳入歳出決算認定に
ついて

歳入3億8,729万円、歳出
3億8,171万円。実質収支は
558万円の黒字となった。
(全員賛成 可決)

◆議案第61号

○平成27年度あさひプライムス
キー場事業特別会計歳入歳出
決算認定について(平成26年
度からの繰越含む)

歳入6,500万円、歳出6,479万円。実質収支は21万円の黒字となった。

(全員賛成 可決)

◆議案第62号

○平成28年度朝日村一般会計補正予算(第4号)について

歳入歳出それぞれ1億3,984万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ34億704万円とする。歳入の主なもの、国庫支出金6,178万円、地方交付税4,953万円、県補助金755万円、基金繰入金2,081万円。歳出の主なもの、新庁舎建設地中熱工事等4,543万円、地方創生交付金事業3,622万円、雨水被害による電気柵復旧工事3,170万円。

(全員賛成 可決)

◆議案第63号

○平成28年度朝日村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

歳入歳出それぞれ1,627万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ5億9,814万円とする。平成27年度事業の精算に伴う国庫負担金の返還。

(全員賛成 可決)

◆議案第64号

○平成28年度朝日村介護保険特別会計補正予算(第2号)について

歳入歳出それぞれ368万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ4億9,830万円とする。平成27年度事業の精算に伴う介護給付費の返還。

(全員賛成 可決)

◆議案第65号

○平成28年度朝日村下水道特別会計補正予算(第2号)について

歳入歳出それぞれ216万円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ4億8,937万円とする。歳出の主なもの、ビュアラインあさひ長寿命化工事精査に伴う減額880万円、庁舎建設に伴う設計監督委託660万円。

(全員賛成 可決)

◆議案第66号

○平成28年度あさひプライムスキー場事業特別会計補正予算(第2号)について

6月議会で議決した雨水被害によるスキーリフト修繕について、県補助金がついた事による一般会計繰入金との財源振替。

(全員賛成 可決)

◆追加付議事件

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

上條 榮三氏を人権擁護委員の候補者として推薦したいので、議会の意見を求める。

(全員賛成)

◆発議第3号

○子ども・障がい者等の医療費窓口無料化を求める意見書について

長野県議会議長、長野県知事に提出する。(全員賛成 可決)

◆発議第4号

○私立高校への公費助成に関する意見書について

内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、長野県議会議長、長野県知事に提出する。

(全員賛成 可決)

◆議員派遣について

○次のとおり議員を派遣する。

議会行政視察(上水内郡信濃町、森林セラピー事業の調査)

◆閉会中の継続調査の申し出について

●事件

●議会運営委員会

①議会運営委員会の所管事



務に関する事件

②議長の諮問に関する事件

●総務産業常任委員会

①総務産業常任委員会の所管事務に関する事件

●社会文教常任委員会

①社会文教常任委員会の所管事務に関する事件

●期限

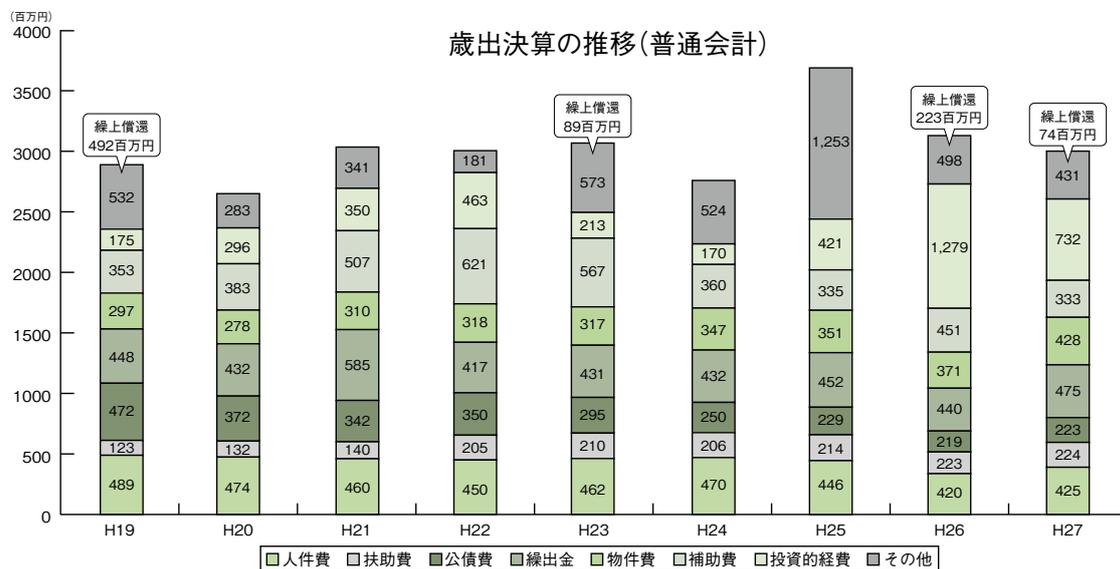
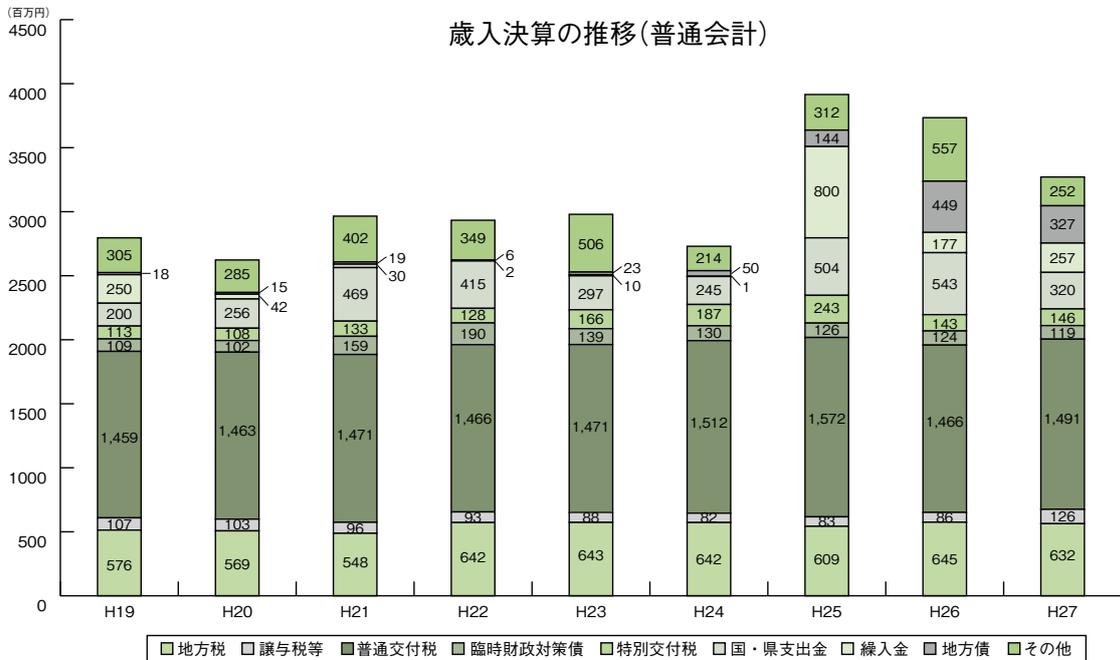
●次期定例会開会まで

平成27年度一般会計及び特別会計決算審査報告書について

平成27年度決算審査は、上條孝也・高橋廣美監査委員により、7月25日から8月1日に行われ、その結果関係法令の定めるところにより検証し、全てにおいて正確であると認められました。財政健全化判断比率は、実質赤字比率なし、連結実質赤字比率なし、実質公債費比率7.3%、将来負担比率なし、資金不足比率なしでした。

一般会計では、歳入35億2,356万円、歳出32億7,147万円、実質収支は1億3,429万円の黒字決算、その他6の特別会計も全て黒字決算でした。

審査意見として、朝日村第5次総合計画後期基本計画の2年目に当たり、基本計画に沿い力強く村政が運営され、結果が数字に表れている。経常収支比率70.2%で弾力性ある財政運営で村独自の施策が容易になり、実質公債費比率も7.3%と財政改革の成果が表れている。今後も引き続き財政の健全化に努められたいと結ばれました。



総務産業委員会報告

総務産業常任委員会は9月13日に開催し、去る6月定例会において上組地区から提出され継続審査となっていました要望第1号を再審査しました。

要望第1号「村道西洗馬7号線・長坂周辺の環境整備に関する要望書」

については、慎重審査の結果「趣旨採択」としました。

審査の主な経過を申し上げますと、上組地区及び向陽台地域から村の中心部につながる村

道7号線の長坂周辺の道路環境整備・改良の要望に対し、すでに道路管理者である村の対応で、一定の道路環境改善が図られておりますが、なお一層の安全確保のための部分改良が必要であると考えます。

しかし一方で、この地域につきましては、村でこれから新たに作りうとしている向陽台地域と県道とを結ぶ新設道路の計画があり、西洗馬7号線の大規

模な道路改良や通学路としての復活には慎重論もありますので、この要望を趣旨採択としました。

なお、新設道路の計画やスケジュールについて、上組地区・向陽台地域の住民の皆さん及び関係者に対し十分な説明、協議を行い、コンセンサスを得た上で、安全で快適かつ利便性の良い道路を建設することが重要であります。(委員長 上條昭三)

社会文教委員会報告

委員会は去る9月13日に開催し、**陳情第6号「子ども・障がい者等の医療費窓口無料化を求める長野県への意見書の提出を求める陳情」**については慎重に審査した結果、全会一致で「採択」です。

審査の主な経過を申し上げますと、喫緊の課題である少子化防止対策の推進や障がい者福祉の充実を図るために、医療費二部

負担金の償還払い方式を窓口無料化にすることが必要であることや、これまでに40を超える都府県で医療費窓口無料化が実施されている現状では、当県も対応すべきであるとの結論に達しました。

陳情第7号「私立高校にたいする公費助成をお願いする陳情書」については慎重に審査した結果全員一致で「採択」です。

審査の主な経過を申し上げます

すと、高等学校教育の担い手として、私立高校の果たす役割は多様かつ重要です。しかしながら、私立高校は公立高校に比べ、授業料、学納金等が多額であり、保護者の負担が大きくなっています。

当村からは中信地区私学7校へ25名の生徒が通学しており、これらのことから、助成の継続が必要と考えた結果です。

(委員長 林 邦宏)

中俣 せせらぎ公園 草刈り

去る7月6日、中俣せせらぎ公園の草刈りを朝日村議会全員で行いました。この公園は野俣沢林間キャンプ場に隣接しており、観光シーズンとなると多くの方々が利用します。施設周辺を約2時間かけて草刈りを行いました。

美しい朝日村のせせらぎ公園。環境美化の為に議員一同、今後も一層の環境美化に取り組んで参る所存であります。

(北村直樹)



一般質問

高齡化社会に対する国民健康保険料の算定のあり方について



高齡化社会に対する国民健康保険料の算定のあり方について
インターネット・T関連教育の期待と教育方法について

7番 北村直樹

問 国民健康保険は私たちが平穩な生活を送るためになくはない公的医療保険です。村内における国民健康保険加入率は27.2%となっており、国民健康保険と社会保険を比較した場合、保険料の算定は異なります。社会保険料の算定は個人の給与額に対し、標準報酬月額等の等級にあつた金額にて計算される一方、国民健康保険の算定は個人の収入だけではなく、その世帯で国民健康保険加入者の総合計の収入で計算される。我朝日村は農業立村です。万が一、農作業中に事故が発生し長期入院又は介護が必要となった場合、子供達は自分とその介護者の国民健康保険料を負担しなくてはならない。仕事を辞めての介護となれば、収入のない中で介護料・生活費・そして保険料の支払いとなり、介護を希望した人たちがたちまち貧困に陥ることになります。そこでお尋ねいたします。高齡化社会と農業立村の朝日村にとって、今後予想される国民健康保険料算定に対し、今現在における対策があればお聞かせください。

答 国民健康保険の加入者は高齡者、所得が低い方の割合が高いのが特徴。低所得者に対しては保険料の負担軽減措置が取られている。所得より算定された保険料に対し、3段階で減免措置が取られている。当村でも国保加入世帯全体の45.5%が減免措置をとっている。

問 朝日小学校教育用としてパソコンやタブレットを購入した報告がありました。現代社会において、パソコンの使用はなくてはならないものである。私は以前、東京の会計事務所働いていた時、クライアント先でパソコンとインターネット

を活用したビジネスを展開する会社が多く存在し、中には20代半ばの方が社長を務め、従業員数十名を束ねる会社もありました。インターネットビジネスの良い点は、インターネット環境が整っていればどこでも仕事ができる点。時間に拘束されない点。現在、企業では従業員が自社に出社しなくても自宅にて仕事をする方も増えております。さらに、画期的なのはクラウドワーキングなるものがあること。私はこのパソコン教育を通じて、インターネットを活用したビジネスを当朝日村で、近い将来、子供たちが立ち上げてくれることを期待しているわけであり、この豊かな朝日村をアピールして欲しいと願っております。私は、昨年の9月定例議会一般質問において、子供たちの職場体験の現状をお聞きしました。大切なことは、職業情報をいち早くキャッチし、自分の想いに合った職業を知る事。そして、その職業の知識や専門学をいかに早い段階で学ぶことと質問を致しました。そこで、お尋ねいたします。今回パソコン機器をどのような方法で活用し、子供たちの教育に活かすのか？インターネットビジネス関連のキャリア教育をどのような方法で取り入れていくのですか？

答 インターネットは大変有効である反面、課題もある。学校教育ではモラルや情報社会に参加するための育成を家族の協力を得ながら進めていく。その上で情報処理の活用実践を高めていく。キャリア教育については社会科等で教科指導内容項目があれば指導していきたい。インターネットの基礎中の基礎を中心に学習を進めていく。



ひとり暮らし高齡者の福祉充実を
子供の貧困問題について

8番 小林弘幸

配食サービス事業について

問 朝日村の健全財政が続く中、少しのゆとりを一番の弱者であるひとり暮らし高齡者の福祉充実に当てられないか、特に配食サービスの利用者を増やす方策は出来ないか。

住民福祉課長 配食サービスは、介護保険の地域支援事業の実施要項に沿って行っている。ひとり暮らしでも、調理が出来ない・栄養改善・見守りを兼ねた事業となっている。現在は相談を頂いた中で9名の方が利用しており、制度を知らないで利用できない人の無いように広報等で周知を図って行く。

問 老人福祉費3,200万円の内、高齡者在宅福祉費は2%に過ぎないが、サービスと経費の構造に問題は無いのか。

住民福祉課長 社会福祉総務費の人員費は職員2名分で、介護保険担当の人員費は介護保険特別会計に入れることが出来ない為、一般会計で賄っている。

村長 ひとり暮らし老人の配食サービスだけが高齡者福祉ではない。塩地区木曾老人福祉施設組合特別養護老人ホーム等施設を持っている

が、それらの負担金のウエイトが大きく、全てが高齡者福祉にかかわっている。たった2%は間違つた解釈である。

子供の貧困問題について

問 子供の貧困率は上昇傾向にあり、6人に1人が貧困状態と言われているが、朝日村に於いて子供の貧困問題はるか。

住民福祉課長 村内に於ける子供の貧困家庭については、保健士・福祉担当で把握していない。国では生活困窮自立支援法がスタートし相談体制の強化が図られ、塩尻市役所に相談窓口が開かれている。民生児童委員会としても、1人親家庭の訪問・支援に携っている。

教育次長 教育委員会として把握していない。保育園・小中学校に於いては先生が個々の子どもたちを毎日観察し、健康状態や学習状況を把握確認している。今後も少しでも気になる園児・児童・生徒については関係機関と連携を密に対応をしていく。



1 介護保険法改正に伴う村の取り組みについて 2 公共施設等総合管理計画について

9番 塩原智恵美

1問 昨年4月国は介護保険法を大きく変えた。このことよって村では今年2月「朝日村生活支援体制整備事業実施要綱」を作り、団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けてこれからどう準備しそこをどう乗り越えるかの態勢に入った。今年から村がスタートする準備の内容を伺いたい。又、地域で支える生活支援のあり方が今後最も重要になる事や、児童福祉、障がい者福祉等村全体を総括した「地域福祉計画」の必要性についてどうお考えか。

住民福祉課長 今回の法律改正の大きなねらいは、在宅でいかなる状況になっても安心して暮らせる仕組みづくりにある。その為には隣近所等身近な人々の生活支援が欠かせない。村ではその様な地域づくりを進めるため今年から「生活支援コーディネーター」を朝日村社会福祉協議会に置き、「協議体」という組織をつくり支援を必要とする人の受け皿にする。
村長 「地域福祉計画」の必要性は十分受け止める。

2問 村では今年7月29日「公共施設管理計画」を策定した。これは現存する村の建物(53施設)と道路・

橋・下水道や水道等インフラと言われる施設等全ての財産について、今後20年間に亘る管理の方針を示したものである。この計画は将来にわたって発生する経費として、大規模修繕や更新などの、どの位お金が必要になるか目安の数字が示されており(40年間で192億円、毎年に換算すると5億円)村の財政見通しをする上で重要な計画である。総務省の指針では、今後の管理計画の実効性を高めるために、策定段階から役場職員的全庁を挙げての取り組み体制の必要性や、住民と議会には十分説明するように求めている。しかし策定段階において村からの説明はなく、現在ホームページに公表されている内容は村民にはわかりにくく、パブリックコメントを求めるならわかりやすい概要版を作つて全戸配布するべきではないか。

総務課長 これから10年の財政計画を立てるのでその中に具体的な施設の修繕など載せていく。その段階で議会や村民に説明する。

村長 今後必要とする財源について今から心配する必要はなく、国の補助もあることから流動的に考えればよい。



猿出没による食害対策について

10番 林 邦宏

有害鳥獣防止柵の施工進捗度は88%弱に達し、その施工効果は猪や熊などには発揮されており、しかし今年は何年以上頻りに山沿いや中山間地の畑に猿が出没し、収穫期の農作物が食害に遭い、農業者の営農意欲を低下させ耕作放棄地の拡大、農地の荒廃を招き農業の衰退化につながるのではと懸念されます。猿から村民の財産を守ることは、行政の喫緊の課題です。生涯現役を目指す高齢者が「せんぜ畑」で旬の野菜栽培に精を出しそれを「生きがい」の場としている方々の擁護は必要です。有害鳥獣の駆除や個体数調整は必要施策です。当村に出没する猿軍団は天敵が存在しない、我がもの顔に振る舞われている感があります。

問一 有害鳥獣防止柵には猿の出没防止機能はどの程度有しておりますか。機能向上維持にはどのような対応が必要か。

産業振興課長 立木は個人所有のため理解が難しく止むを得ず柵を敷設した経過となっている。被害を防ぐには防止柵に沿って立木の伐採を行い干渉帯を整備することが最も有効です。被害が発生している地域では、

立木所有者への理解を取りまとめる尽力を区長、地元役員や地元議員らに期待したい。

問二 猿出没時の対応の仕組みと駆除個体数削減策は。

産業振興課長 出没時、猟友会長に依頼し銃器による駆除、追い払いを実施している。県からは10頭の銃器による駆除許可を得ているが、今年度の銃猟による実績は発揮されていない。

問三 有害鳥獣の捕獲駆除に対する報奨金はどのように成っているか。

産業振興課長 鳥獣防止柵の施工されている現状では、鳥獣対策委託料として35万円を猟友会に支出をしている。また村の依頼による駆除の実施を行う鳥獣被害実施隊の活動報酬として20万円を計上している。鳥獣駆除に対する報奨制度は実施していない。

問四 国会では鳥獣被害防止特別措置法が審議されますが、当村の対応は。

産業振興課長 当村では平成26年度に鳥獣被害対策実施隊は猟友会員を任命しており、体制強化を図りながら、改正法案の内容を見ながら対応して行く。



朝日村の観光と特産品について

1番 高橋廣美

問 朝日村を代表する特産品には、柿ドレッシング、信州そば、レタス、キャベツ等の高原野菜と

ねずこげたがあります。これらは朝日村を紹介するパンフレットの中心的な役割を担っており、まさに朝日村の「顔」である。今や、どの品も欠くことのできない地位を占めている。柿ドレッシングについては、村主導で特産品の会が担ってきた。地方創生が叫ばれる今、村の大切な観光資源であり先人が必死で育ててきた特産品の灯を消すのは朝日村の大きな損失です。指定管理を担ってきた針尾加工所の今後はどうなるのか。

答 特産品の会は平成二十三年から二十八年まで針尾加工所の指定管理を担ってきたが、新規指定管理者にはならず現在は居ない状態であり新規管理者を募集中である。柿ドレッシングの必要性は充分承知をする中で、地方創生の補助金を使い新規管理者の支援をしていきたい。

プレミアム商品券の地元経済への波及効果と検証、今後の考え方について

問 他の自治体と異なり、大型店に偏ることなく地域経済には一定の波及効果はあったと思うが当局の見解と今後について問う。

答 アベノミクスは未だ地方へ波及していない。当村においては一定の効果があったと思うが村内事業者の検証結果が知りたい。当局としては今後村内事業者の積極的な取り組み姿勢が見られ、村内経済の活性化が期待できると判断できれば第四弾の発行も考えてもいい。



山鳥場遺跡発掘作業の今後のスケジュール等について

2番 中村賢郎

問 現在中組バイパス建設予定地が進められている、埋蔵文化財発掘調査の今後の予定を聞きました。

(一) 先ず今回の発掘調査は、9月末日までの予定ですが今後のスケジュールについて(二) 今回の発掘調査において、縄文時代中期の堅穴住居跡十棟を始め「土器・耳飾り等」が出土しています。特別価値の高い遺跡ではないかもしれませんが、5千年前に先人が住み、その上には我々の生活がある事を考えれば、何らかの形で後世に残す事は考えられないか聞きました。(三) 発掘調査の実施が中組バイパスの工期に影響があるか聞きました。

答 発掘作業は県の埋蔵文化財センターで11月末まで延長が決まった事、それに伴って報告会を1月以降に開催予定である事、発掘作業については平成29年度以降については明確になっていないので、早期の発掘調査を要望しているとの回答です。又、出土した物についてはよく調査し、熊久保遺跡の出土品との比較等を行った上で、資料館で保管される事になるとの事ですが、形あるものを後世にとの意見には前向きな回

答はありませんでした。中組バイパスの完成については、平成30年度内の竣工を目指すとの回答でした。

上組地区より要望のある通学路の変更について

問 今回は上組地区より要望のある7つの要望の中の、通学路変更についてのみ村の考えを聞きました。

(一) 小学校児童の通学路の決め方について(二) 安全確保の為に教育委員会の係り方について(三) 仮に上組地区の要望に沿った形で、村道西洗馬7号線(長坂)が、改修されれば通学路として可能か聞きました。

答 学校保健安全法27条に基づき、児童生徒等の安全を確保する為、PTA・学校で指導している事。又、教育委員会として担当課・学校・PTA他と協力し、安全を確認し毎年見直しを実施している事。西洗馬7号線(長坂)については、道路周辺に民家がなく、緊急の折逃げ込む場所がない事、冬期間の道路状況等検討して、PTA・学校等で総合的に判断する事になるとの回答でした。



庁舎建設に伴う道路計画について

3番 上條俊策

問 庁舎建設に伴う東電道路に歩道設置を計画しているが、近隣の住民の方から、どの様に計画されているのか、説明会の折、土地を買い上げて設置するような話を聞いたが、現在生活している所を譲渡して欲しいと言われても、今でも余裕がなく生活している状況で、譲渡したくてもその状況になく、心配で悩んでいる。ついでに、具体的にどの様な計画なのか、早急に現地で説明して欲しい。道路を南面に寄せて計画して欲しい旨言われていますので、お答えください。

上條産業振興課長 今現在計画を立てている所で、すぐに説明会は出来ないが、早い時期に近隣の関係者との説明会を開き、ご意見を伺って行きたい。又南側に道路を寄せる事も考慮して、建設建物の位置を考慮して設計しているので、道路位置の移動は可能である。との答弁を頂きました。住民の皆様への心配を一日も早く解決する事が、大切であり、安心して生活できるように、住民説明会の開催と納得ゆく方策を要望しました。

村の防災訓練に関して

問 9月4日村の防災訓練の際、地区住民の意見要望がありましたので、端的に質問いたします。①訓練の中で、AED「自動体外式除細動器」の講習の時、AEDは村内の何処に設置されているのか、各地区の公民館等にも設置されている所もあると聞きましたが、内容が知りたい。②地区で設置を希望すれば、設置して頂けるのかお聞きしたい。

上條産業振興課長 村では厚生労働省の指針により、役場・中央公民館・保育園・わくわく館・小学校かたくりの里・プライムスキー場の7箇所を設置しており、民間では10箇所又、各地区の区長より要望のあった西洗馬地区の公民館4箇所・第5分団詰所、針尾公民館1箇所・宝くじ補助金をつかって設置されている。今後、設置を希望する場合は、区長を通じて行政に相談して欲しいとの答弁をもらった。緊急事態に備えて必要な地区は要望し設置する事が必要と考える。



国産材利用増大を 農業、商工業について 道路や水路の整備促進を

5番 齊藤勝則

国産材利用増大を

問 政府は5月24日、森林、林業基本計画を閣議決定した。実行責任を負う。2025年迄に供給目標4千万m³、2014年の1.7倍、自給率50%以上だ。5年毎見直しで、林業の復活を願う農山村の期待は大だ。循環林業利用増大を目指している。人工林の半分は50年生以上で伐採期だ。直行集成板活用、木質、バイオマス等の木材需要の創出をうたっている。しかし生業は厳しいと思われるが、来年4月から実施される。地球環境を守る林業は、効果は70兆円ともいわれているので当村はこの計画をどう対応していくのか、又鳥獣特措法改正も国は進めているがどう考えているのか。県の森林税が2/3しか使われていないが国の支援と合わせ利用は。

答 平成21年から里山整備を進めていて、村も900万円の補助をしていて152haをやっているが、搬出間伐は条件も厳しく20ha程の成果である。昨年から地方創生交付金の対象としての森林、林業の生業の実現が出来るのか等の可能性も検討している。有害鳥獣も柵等の設置等で進めている。

農業、商工業について

問 アベノミクスが、波及せず、アンケー

トの結果でも、3期連続の景況指数(DI)でもマイナス成長である昨今、当村としては、農業振興、商工業の発展、観光資源活用をどの様に考えているのか聞きたい。そして、プレミアム商品券の今後は、農業生産物の今後の発展、商工業の発展について、行政の考えを聞きたい。

村長 まだまだ地方版アベノミクスは、効果があらわれていない。まさにグローバル時代、国際経済の影響をうけている。国内需要を増やさないといけない。農業、商工業も新しい時代にあった今後の対応に期待したい。農業主体の村、中山間地の野菜産地としてバランスのとれた発展することを願っている。

道路、水路の整備促進を

問 議会と各区の協力で問題個所を行政に報告しました。この道路ばかりでなく、水路の不具合も村内各地にあると思いますが、その改修改善改良についての進捗状況を知りたいことと、その緊急度合の決め方について考えを聞きたい。又水路の暗渠の改善工事は、考えているのか、今後の道路改修の計画を聞きたい。

課長 予算の範囲の中で対応している。道路の改修改善その他は、今後報告をしていくつもりです。議員指摘の箇所は今後調査したい。



1 松枯れ被害防止について
2 村道西洗馬7号線の環境整備と
向陽台新設道路について
3 婚活支援について

6番 上條昭三

問 松枯れ被害はついに朝日村でも発生しました。この松くい虫被害を絶つためには伐倒駆除、くん蒸処理が初期段階としては有効であると思います。塩尻では被害木の周りの10本ほどを処理したら効果があつたとか聞きましたが、朝日村でも実施しては如何でしょうか。

産業振興課長 松くい虫被害は下

古見で1本確認されくん蒸処理した。それ以外の枯れた松を調べているが松くい虫は出ていない。塩尻で周りの松を処理したが、2キロは広がるのでその範囲を処理しないと効果は無かつたようだ。朝日村では早期発見、早期処理で対処してゆく。

問 6月定例議会に上組地区より

村道西洗馬7号線・長坂周辺の環境整備に関する要望書が提出されましたが、この道路を村道として存続していく以上長坂周辺には最低限すれ違い箇所が2箇所必要と思えます。また向陽台と県道とを結ぶ新設道路のルートは決まりましたでしょうか。2月には新分譲地の

発売が開始されます。住民が増える前の開通をお願いします。

産業振興課長 新設道路のルート

を決めるための設計業者発注をこの秋に行い住民とのコンセンサスを取りながら28年度内には基本計画を策定する。また、施工については早い段階で行いたいと思う。

問 婚活支援委員会しあわせ信

州朝日では婚活イベントを平成26年より毎年2回、この9月には第6回目のイベントを開催いたします。すでに男性23名、女性16名の応募があります。それでイベントの成果ですが第2回に参加された朝日村の男性と村外の女性と9月にめめたく挙式されます。村外の男女の結婚も何例か有ります。婚活支援は最終的には人口増を狙ったものですので行政の更なる支援をよろしくお願いします。

住民福祉課長 しあわせ信州朝日

の婚活支援活動には敬意と感謝を申し上げます。村のホームページの活用等積極的に支援していきます。

朝日村山形村議会議員 研修報告

去る7月14日に「朝日村山形村議会議員研修会」がAYTマルチメディアセンターで開催されました。

この研修会は隣村二村の議員それぞれがより一層相互理解を深め、又親睦等計る事を目的に毎年当番を交代しながら開催しております。

本年は朝日村が当番村で企画立案し、開催致しました。先ず、朝日村の紹介ビデオを鑑賞した後、長野県信州ブランド推進室の谷口寿明氏による「信州ブランドを一緒に作りましょう」をテーマとした研修を行いました。内容はブランドとは何か？から始まり信州ブランド作りの具体的展開として、県の考え方や取り組み方法等についての説明があり、十分な検討が必要だと考えます。

研修会終了後、二村の村長にもご出席頂き懇談会を行いました。日頃の議員活動の中で、感じる事等自由な雰囲気の中で活発な意見交換が出来たと思えます。



(中村賢郎)

第21回森林・林業・林産業活性化促進議員連盟・長野県連絡会議総会・研修会

去る8月

25日、塩尻市文化会館・レザンホールにて、開催された。

本連絡会議は17市・19町・33村の森林・林業・林産業の活性化と山村振興を願う長野県議会及び市町村議会で結成された地方議員連盟をもって組織されており、350名余が参加した。



27年度活動報告・決算認定・28年度活動計画・予算認定の後、研修会講演で、「林業で信州を元気に」林業から地域づくりを考える」と題して古川大輔氏の講演を聴いた。

林業女子・林業男子といわれる35歳未満の若者の林業従事者は全産業で低下している中、1990年以降増加傾向にあり、2010年には18%まで上がっている。

朝日村も今後、林業を通じて地域の活性化を図るべく、研究・計画・実行していく必要があると感じた。

(上條俊策)

村民の 声

区長として思う事

今年4月1日より西洗馬区長をお引き受けしまして早6か月が過ぎました。区長の役割・仕事がまだまだ分かっておりません。今後も勉強をしながら2年間頑張りたいと思います。先日9月4日の防災訓練には、お忙しい中大勢の皆様のご参加ご協力ありがとうございました。現在、地球上各国で震災・水害が多発しております。日本も同様、日本列島各地で震災・台風による水害等被害が出ております。おかげさまで今の所朝日村では災害が出ておりません。新聞紙上では、長野県各地で熊の出没に警戒をして下さいとありますが、朝日村では鳥獣被害防止柵の設置で熊・猪の被害がなくなったと思います。最近は雨氷による森林被害、台風・長雨による農作物被害、又いよいよ朝日村でも松くい虫の被害が出始めました。色々の問題がありますが、その中新役場庁舎の建設が進んでおります。防災対策本部、避難所、一般事務会議場、いこいの場等多目的センターとして計画しております。西洗馬区としては、中組バイパス、向陽台増設、道路、水路等色々問題がありますが最大の問題として西洗馬公民館建設があります。鎖川右岸対策本部、避難所、会議室、いこいの場等多目的センターとして検討しております。西洗馬区の皆様のご意見ご指導ご協力を宜しくお願い致します。

西洗馬区長 中村宇一郎



中村宇一郎さん

編集後記

9月議会が終わりました。9月議会は決算認定議会とも言われます。決算書は昨年一年間村が実施した事務事業について、監査委員が審査し意見書を添付して村から議会に提出される書類です。議会はこれを審査してその効果を評価し、審査の過程でこれからの反省事項や改善事項をまとめ、今後の活用に生かす役割が求められます。一冊にまとめるとA4版厚さ3センチの書類ですがこの中には職員の手汗がギュッと詰まっており、その結果村民生活を支えた成果報告書になったと思うと感慨深

いものがありました。こうして一年一年の積み重ねによって現在があり、今後更なる住みやすい村づくりの為に、村政を担う議会の役割の重責に改めて思い至りました。

(塩原智恵美)

発行責任者

議長 清沢 正毅
委員 小林 弘幸
副委員長 塩原智恵美
委員 上條 昭三

委員長 塩原智恵美
委員 上條 昭三

写真担当

林 邦宏

北村 直樹

中村 賢郎

上條 昭三

塩原智恵美

小林 弘幸

清沢 正毅

議会活動日誌

7月		活動内容
1	金	東筑村議会議員交流会(筑北村)
3	日	松本消防協会ポンプ操法・ラッパ吹奏大会(松本)
5	火	篠ノ井線松本地域活性化協議会定期総会(安曇野市)
6	水	議員草刈ボランティア(中俣せせらぎ公園)
7	木	鉢盛中学校組合議会臨時会/新庁舎建設近隣説明会
11	月	高齢者ふれあいの集い/風食防止対策協議会
12	火	議会だより校正
13	水	議会全員協議会
14	木	朝日村・山形村議会議員研修会
15	金	松塩地区広域施設組合議会(松本)
19	火	松本広域連合7月臨時会/議会だより校正
21	木	町村議会議員研修会(松本)
25	月	決算審査/松本地域正副議長懇話会(塩尻) 県道新田松本・土合松本・松本空港線整備促進期成同盟会総会(松本)
26	火	決算審査・例月出納検査
27	水	決算審査~29日
8月		活動内容
1	月	決算審査・決算審査報告会
4	木	新庁舎建設地近隣住民説明会
6	土	第27回お夏まつり
9	火	庁舎建設委員会
10	水	議会全員協議会/総務産業委員会行政懇談会
14	日	第69回地区対抗野球大会
15	月	成人式
17	水	議会全員協議会
18	木	私立高校助成陳情来庁
22	月	東筑村議会議会第1回臨時総会(松本)
23	火	議会運営委員会
24	水	松塩地区広域施設組合第1回環境保全協議会
25	木	森林林業林産業活性化促進議員連盟総会・研修会(塩尻)
26	金	農業委員会懇談会/県町村監査委員表彰式・研修会(安曇野市)
28	日	かたくりの里祭り
30	火	例月出納検査/臨時監査
9月		活動内容
2	金	第67回東筑村議会議員大会(麻績村)
4	日	地震総合防災訓練
7	水	村議会9月定例会本会議/議会全員協議会
8	木	議会全員協議会
12	月	一般質問通告日
13	火	議会常任委員会
16	金	村議会9月定例会本会議一般質問
17	土	小学校運動会
21	水	戦没者慰霊祭/村議会9月定例会本会議/議会全員協議会/行政視察
23	金	土地開発公社理事会
24	土	あさひ保育園運動会
25	日	緑の音楽ピクニックinあさひ
26	月	町村議会議長会部会・全体研修会
27	火	例月出納検査/議会社会文教委員小学校PTA役員懇談会
28	水	議会社会文教委員保育園保護者会役員懇談会
29	木	鉢盛中学白峰祭